

2021年度年末手当 を考える ②

昨年11月以来、**緊急事態宣言**が全面解除!

今後は「**ウィズコロナ**」の中で
感染防止対策と**経済**の両立が課題

J R東日本が10月5日に発表した、上半期の「鉄道営業収入 対前年比の推移」では、コロナ禍でも、前年を上回る営業収入を上げています。(2020年比)

	定期収入	定期外収入	合計
第1四半期	107.8%	205.7%	150.8%
第2四半期	94.6%	106.9%	102.3%
上半期	101.1%	138.5%	121.5%

今後の動向、感染の再拡大等「楽観視」は出来ないものの、10月1日以降、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が全面解除され、鉄道をご利用のお客さまも戻ってきています。

この間、J R東日本は、コロナ禍による赤字経営の中でも、今後5年間の中で、維持更新・成長・イノベーションの設備投資総額で、3兆8,850億円もの莫大な投資を行うことを明らかにしています。

こうした中で、まもなく労働組合との年末手当交渉が始まります!

お客さまが安心してご利用出来る環境を整備し、巨額の投資が出来る体制を支えているのは社員です。「将来への投資」と同じく、将来のためにも「人への投資」を求めましょう!



**鉄道利用は徐々に戻っています。
そこに期待します!!**

国労は**2.7ヶ月+5万円**を求めています!